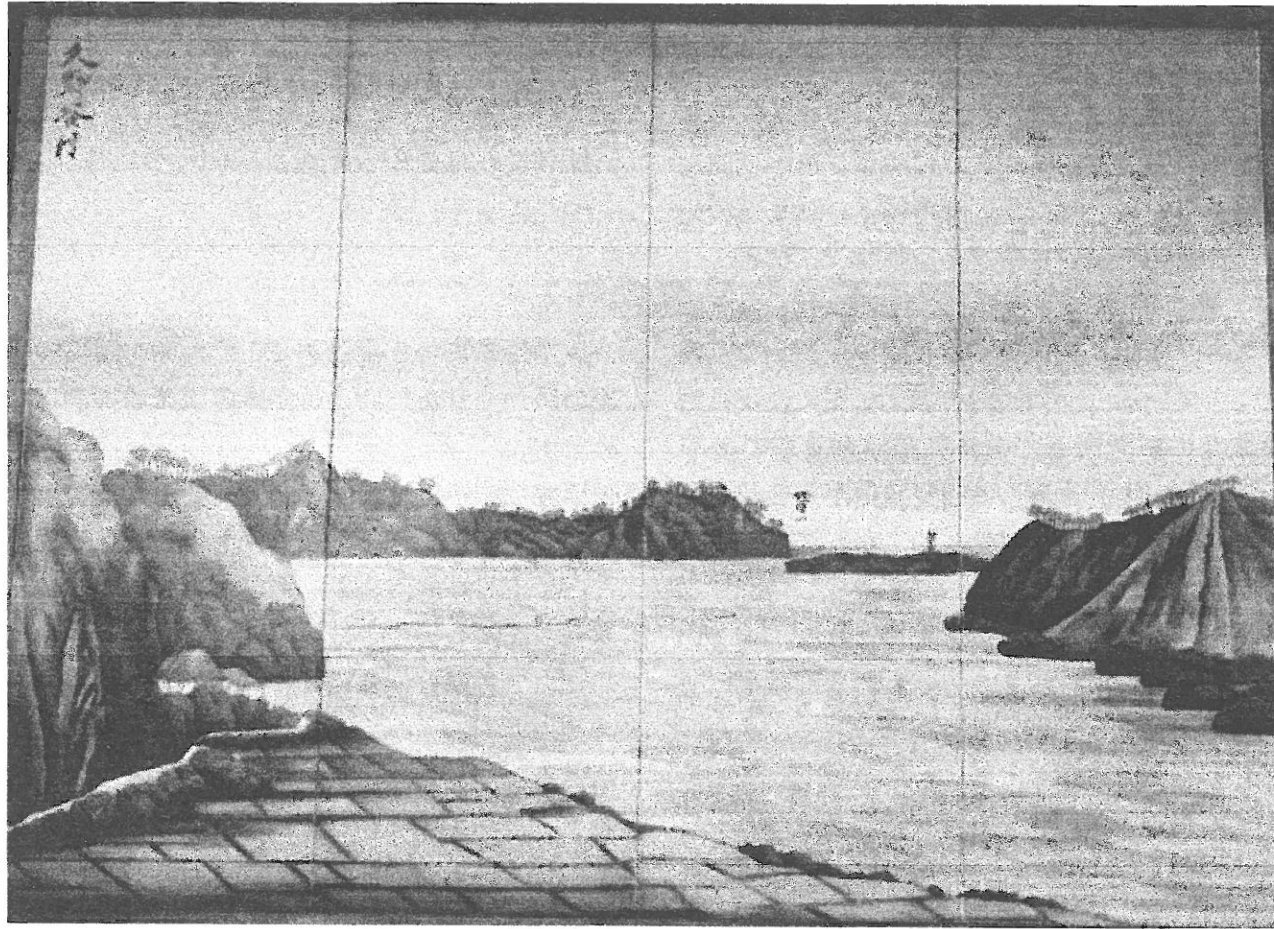


故(ふる)きを温(たず)ねて
新しきを知る



市役所1階ロビーに久野谷村なる表題の谷文晁が描いた絵が飾られています。この絵は1793年(寛政5年)ごろ描かれたとされている「公余探勝図」の中にあるもので、迅速測図が作られた1882年(明治15年)より90年程遡った時代です。

「公余探勝図」とは、時の老中・松平定信が当時緊迫し始めた外国との関係を憂慮して、海防の目的で武蔵・相模・伊豆の沿岸を視察した際、随行した谷文晁に記録させた絵図。

旅行の目的である海岸防衛の意図から沿岸地域を写生したものだが、表題から推察して、堅い公的行事の中に多少の余裕と遊び心を加えて、若干観光絵図風に描かせたものと想像します。

上下2巻あり全部で79図を掲載、国立博物館にあり国の重要文化財に指定されています。

その後の迅速測図が作られる90年の間に、どれほどこの地域が変わったかは定かにはわかりませんが、現代の様に急速に変化が進む時代には入っていなかっただろうから、文晁の絵図と迅速測図の間には大きな違いはなかったのではないかと想像します。

今回は、この絵のもととなっている、「公余探勝図」に記録されている原画と、迅速測図から同じ場所を見た比較と、更に原画の細部を見てみたいと思います。

鈴木為之(山の根在住)

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第3号 (準備会から通算第24号)
発行日 平成29年7月1日
発行所 逗子市久木2-1-1
久木小学校区住民自治協議会
発行人 田倉 由男

◆6月度から部会活動が始まりました◆

第2回住民協役員会

6月3日(土)13:30~14:40分・久木会館で、21名(うち役員12名)が参加して開催されました。主とした審議内容は次の通りです。

①住民協会員確定の件・・・6月3日現在の会員が確定しました。組織の代表として34名、複数の組織代表として加算すると38名(38組織)、個人会員として28名、合計62名となりました。会員には会員確定書を配布しました。

役員会からのお知らせ

①総合計画審議会委員・・・市から逗子市総合計画審議会委員として推薦の要請があり、当住民協から代表の田倉由男様を推薦することとなりました。

②連絡会の開催・・・住民協の中でよりよいコミュニケーションをとることによって、会の効率的な運営を図り、充実した広報誌「住民協ひろば」にしていこうという趣旨です。

毎月第3月曜日(20日前後開催で場合により第4月曜日)・9:30から、山の根・久木・ハイランドの3地域からの出席を得て、久木会館で開催します。

提言 民生委員児童委員の欠員対策

高津様(ハイランド在住、逗子市民生委員児童委員協議会会長)から役員会で、改めて市の

②全戸配布広報誌(住民協ひろば特別号)の件・・・基本的枠組みが決まりました。A-4・8頁、カラーで、保存版として冊子型、配布費用は広告代で充当することとなりました。

東会員から出された原案を基にして、今後内容・体裁等を詰めていくこととなります。掲載内容は原案では、住民協の紹介・運営・活動(部会の紹介)・地域の紹介・住民の声、等が柱となります。

③30年度実施を予定する選択事業の提案期限・・・4月22日開催された住民協意見交換会席上で、市から住民協に交付される地域づくり交付金の内、選択事業関係交付金の扱いについて説明があり、そのうち30年度に各住民協で実施を予定する選択事業のメニューの提案期限については、原案(8月期限)から変更して10月15日までに提出することに決まりました。

(注)交付金は、自主事業、共通事業、選択事業の区別があり、住民協が独自に選択して実施を予定する選択事業については、別途予算査定・議会の審議承認が必要となります。

民生委員児童委員欠員問題について提言がありました。提言の内容は課題を解決する手段として、自治会・町内会を中心に「民生委員児童

員推薦準備会」という候補者推薦組織を作りたいが、数多い自治会・町内会と折衝する時間的余裕がないので、関係者が集まる住民協の中に同様の組織が作れないか、という内容です。事務局から・・・民生委員児童委員は重要な役割を担っており欠員が多いということは看過できない問題です。住民協は地域の話し合いの場であり、当住民協では準備会時代を経て十分な話し合いができる雰囲気が出来ていると思います。地域を代表する方々が出席されているので、方々の理解が得られれば、民生委員児童

部会報告 6月3日・14:30~15:30分

0分、リーダー都合で開催できなかった子ども部会を除いた3部会で、始めて部会会合を開き

① ふれあい部会：報告者 龍村敦子

参加人数 17人。ふれあい部会の集会初日のため、部会長は龍村敦子で進行することが承認されました。17人の自己紹介の中で、部会に参加するそれぞれの思い、方向性の希望、疑問点などが前向き且つざっくばらんに話されました。住民協準備会の中で意見交換してきた、ふれあい部会の中味について知らないメンバーもこの集会から参加しているので、7月8日に開催する7月の臨時部会で2時間かけてふれ

② 減災部会：報告者 鈴木為之

参加人数 7人。最初に鈴木リーダー代行からレジメに基づいて冒頭提言がありました。その内容は次の通りです。

『地域が考える「災害に強い地域とは」、自助が出来ており、「互近助」がしっかりしている地域。平常時から向こう三軒両隣で、声掛けできる環境を作り、発災時はまず「安否確認」から始まって、必要な際の緊急避難、生活支援ができる小さなコミュニティを作ろう。』

引き続き出席者から有益な提言がありました。

ハイランドから；ハイランドには市有の広いグラウンドがあり、災害時（特に津波災害時）テ

員を出している地域が中心となって、それぞれに本来お考えの「推薦準備会」を速やかに作ることができるでしょう。

住民協は、提言に対して形の上ではなく実質的に、どのように寄与できるかはよく考えねばならないことだと思います。民生委員児童委員の問題は、推薦の方法という限定的な範囲にとどめず、広くその在り方を地域で考えねばならないことと認識しており、十分な時間をとって討議すべき事項と考えます。速やかに討議の機会を設定したいと考えております。

ました。初回に関わらず、活発な話し合いが出来ました。それぞれの部会で話し合われた内容の概要を報告します。

あい部会のすすむ方向をお互い納得し合う勉強会を開催したいと思います。

もう一つ部会提案の「ポールウォーキング体験会」を5月30日（月）久木神社で開きました。参加者は25名。ふれあい部会の柱の一つに「高齢者の運動機能」を高め健康の長さを保ちましようという活動をしていこうとしています。その一環が「ポールウォーキング」です。継続することが大切ですから、2回目体験会を6月26日（月）10時久木神社で行います。

ントの設営ができるので、避難者の受入れ場所として考えたいこと。各地域自治会で防災機材を保有しており、それぞれの自治会・町内会が保有機材を開示して情報共有を図り、いざの時の相互活用が出来るようにしておいたらどうか。

久木連合町内会から；各単位町内会が災害時に避難所付近に防災拠点を置くようにしている。避難所と地域の意思疎通を図り、在宅避難者等の課題に備える体制を取り始めている。

山の根会；3・11から時間がたち防災意識が希薄化しており、何よりも啓発が重要だと思う。人材の確保が困難なので、マニュアル化により誰でも行動できるようにすることを考えてい

る。災害時、予想される駅裏の県道の混乱に対して、普段からマーキング等で歩道を設けるとか対策が必要ではないか。

山の根親交会；地域によって、また災害の種類によって被害想定は異なり、対策も違ってくる。まずは各地域で災害に対してどのような対策を考えているのか話し合ったらどうか。

山の根自治会；向こう三軒両隣は、空き家があったり昼間不在の世帯があったりで、現実には

③ 拠点部会：報告者 小林寿志

・久木会館はここ数年利用者団体が、かなり増えてきている。平成29年度は、更に住民自治協議会の部会活動で会館利用が増えることが予想されます。これらの利用団体が 会館を利用しやすいように、運営をおこなってまいります。

・久木会館に多くの人が集えるような工夫をいたします。コーヒーメーカーを設置し気軽に立ち寄れる雰囲気を作り、日常的にサロンの場づくりをおこないます。

・小学生も気軽に立ち寄れる場を作ります。そのために読書コーナーをこれからも充実して

地域便り

楽しい夏祭り：久木神社・熊野神社
7月29日（土）・30日（日）
同時開催

地域包括支援センターから・・・連絡先電話；046-870-6980

毎月下旬に、久木会館で介護予防教室と高齢者よろず相談を開催していますのでご活用ください。

編集後記・・・5月30日、久木神社境内で初めて住民協が関係したイベントが開かれました。健康維持のポールウォーキング体験会、定員を超える人が集まり盛況でした。又6月3日には、役員会の時間を半減して、初めての部会

難しい面があり、普段からの対応が必要であり、小地域の中でリーダーの存在が必要だろう。それぞれが有益な提案です。順次実施していくとして、次回考えることは①それぞれの地域が防災・減災に関して取っている対策等についてまとめて発表する、②10月に実施される避難所訓練に住民協の役割を具体的に考えること、となりました。

いきます。

・久木会館まつりを企画し、サークル団体の発表の場づくりを行い、各団体の交流の推進に努めます。

・平成29年度は久木連合町内会が指定管理者として、運営を行っており、4年目となりました。久木連合町内会としては、4年間の経験もあり、今後も大変ではありますが、運営を継続していく自信はあります。平成30年度の運営体制を どのようにしていくかを、今後住民自治協議会・市と議論してまいります。今後も会館として住民サービスに努めてまいります。

熊野神社（山の根）

29日：宵宮；夜店・抽選等

30日：本祭；子ども神輿渡御

久木神社（久木）

29日：宵宮；演芸大会・夜店等

30日：本祭；子ども神輿・万燈神輿渡御

尚、7・8月度は熱さを考慮してお休みとさせていただきます、9月から再開しますのでよろしくお願いたします。

が開かれました。こちらは大勢の会員の方が参加されて活発な討議が行われました。住民協が地域共通の場を提供できそうなことは何よりでした。

事務局長 鈴木為之 (tame_yuki@ybb.ne.jp)